

みなみの里だより

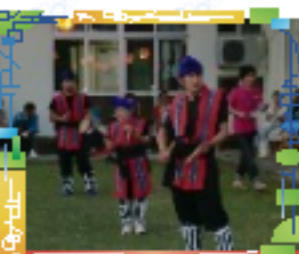
社会福祉法人
志紋福祉会

知的障がい者更生施設
みなみの里
〒901-0333
糸満市字摩文仁207番地
電話098-997-3300

夏祭り特集号

みなみの里
夏祭りを
はじめます！

8月29日、「夏祭り愛と笑顔と優しさいっぱい」をテーマに、第21回みなみの里夏祭りが開催されました。ウチナー・ラテン音楽の平・ゆきさんをゲストに大変盛り上がりしました。事故も無く無事に終える事ができたこと、皆さまに感謝しています。



合同演舞



9月の誕生者

上原 悟 9月2日(34歳)
大城 稔 9月10日(51歳)
仲地力男 9月23日(42歳)
宮里 弘 9月30日(43歳)



8月誕生会を8月24日「カラオケハウス」とまじりに行いました。ケーキ屋さんでケーキを購入する際、さうそくを何本にしようかと迷っていると、「一番多いのでいいさー」と店員さんが声をかけてくれたので、三ツ子さんの誕生日の数だけさうそくを買いました。さうそくに火を点け、「ハッピーバースデー」を歌い終った瞬間、勇さんがタイミングよく火を吹き消し、会場内に笑い広がりました。ケーキと好きな飲み物を頂き、プレゼントを手伝い記念撮影。お誕生日おめでとうございます！！

8月の誕生者

仲田昭男 8月2日(44歳)
渡邊次キミ 8月2日(64歳)
新城彦和 8月3日(55歳)
比嘉勇華 8月6日(25歳)
山川恭彦 8月7日(54歳)
知花 宏 8月15日(53歳)
平良ミヨ子 8月15日(76歳)
大城多美子 8月22日(36歳)

8月・9月の誕生者紹介



新型インフルエンザ感染予防 ・拡大防止について

県内での感染者数が増え、学校や施設等での集団感染の報告が連日新聞やテレビ等で報道されています。今のところみなみの里では、利用者や職員へのインフルエンザの感染報告はありませんが、今後も予防に努め、手洗いの習慣化やうがい等を行なうべきだと願っています。

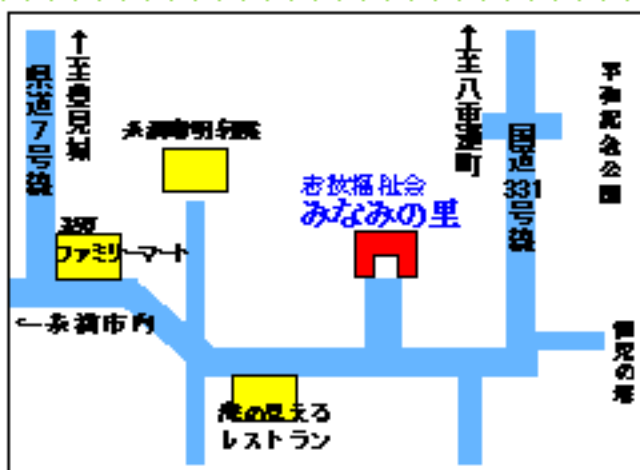
県知事よりのメッセージ

・インフルエンザのよう症状(発熱、咳、のどの痛み等)がある場合は、外出を控え、軽症であれば水分・栄養補給を十分にを行い、自宅で療養しましょう。
・インフルエンザのよう症状で、医療機関を受診する際には、マスクを着用して、かかりつけ医を受診しましょう。
・インフルエンザは発症1週間以内、又は解熱後2日以内は他人に感染させる可能性がありますので自宅で療養しましょう。また、この期間を過ぎれば感染の可能性はほぼありませんので、完治証明などは必要ありません。



ホームページの開設のお知らせ。
『みなみの里』のホームページが9月20日に開設します。
<http://www.minaminosato.jp>

皆さんのアクセスをお待ちしております。



今回は夏祭りの準備を済ませてきました。沖縄県内でもインフルエンザが感染を繰り返していますが、おかげ様でみなみの里ではインフルエンザに感染したとの報告がありません。大きな行事である「夏祭り」が無事開催できるかどうか不安でいっぱいでした。今後は引き続き手洗い・うがいの徹底など感染の注意を払い取り組んでまいります。(上原由美・山城純史)



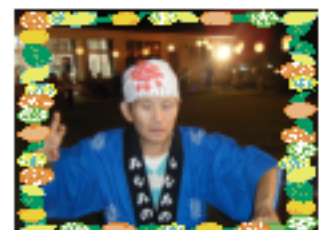
みなみの里相談支援事業センター
相談支援専門 大城 幸子
久手 堅憲太

「みなみの里相談支援事業センター」では障がいを持った方々が住み慣れた地域で安心して暮らす事が出来るように生活全般について相談にのっています。
福祉サービスの利用方法が分からない、福祉制度について知りたい、仲間が欲しいといった相談やみなみの里への入所の相談、在宅サービスの利用等の相談があります。
相談方法も電話での相談または相談窓口に来ていただいたり、必要に応じて私たち相談員がお宅を訪問し相談をお受け致します。
少しでも気になる事や分からない事等がありましたらいつでも相談をお受け致しますので、お気軽にご連絡下さい。

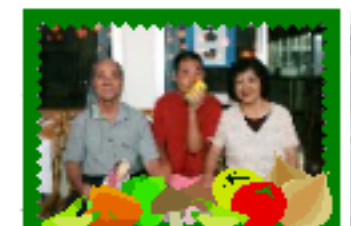
みなみの里では入所施設の他に色々な事業を行い、障がいのある方を支援しています。
今回はその中で、「みなみの里相談支援センター」について紹介します。



フラダンス



楽須エイサー



平成21年7月22日、日本中が、いや世界中が注目した世紀の天体ショー「皆既日食」を体験することが出来ました。
残念ながら沖縄県では、「部分日食」でしたが、それでもみんな中で盛りだくさん、興奮しながら浴槽用の防具を利用して、徐々に欠けていく太陽を観測しました。段々と辺りが薄暗くなり、太陽の周りに虹のリングが見えるといったもと違う雰囲気になりました。

7月8日、水鏡スカイラインにて知的障害者福祉協会主催の子やりに参加しました。自分なりの遊び方で楽しんでいました。



海上自衛隊所属の南極観測船「しらせ」が2008年4月に持ち帰った南極の氷を「海上自衛隊第5航空部」から頂きました。数万年前に降った雪が長い年月をかけて少しずつ圧縮されて形成されたものだそうです。
氷を手を取り「冷たい」「涼しい」と歓声を上げて喜んでいました。

